学生 B さんへの業種提案

これまでの経験と現在の考えから、ぜひ見てみてほしい 3 つの業種を整理しました。

あなたの記録から見えていること

就活の軸を考え始めた頃は、「どんな人の力になりたいか」を言葉にすることが難しく、「自分は助けてもらうことの方が多く、誰かの力になっている自分を想像しにくい」と感じていました。

一方、これまでの経験を見ると、分からないことを先生に聞いて繰り返し学んだり、未経験のスポーツで練習を積み重ねたり、苦手だった接客で自分なりの考え方や工夫を作ったりしながら、「できなかったことを少しずつできるようにする」経験を重ねています。大学の授業では、自分たちの当たり前を疑い、相手の考えや背景を見ることにも取り組んできました。

現在は「自分たちのチームが作り上げたもので、相手の成長を支えたい」「長く信頼される関係をつくりたい」という考えが見えてきています。

確認してみたい 3 つの業種

01 SIer・業務システム

提案した理由　企業ごとの困りごとを聞き、業務を進めやすくするシステムをチームで作る仕事があります。ある IT 企業への志望理由でも、「時間のかかる作業や分かりにくさをシステムで解消し、その人が新しいことに挑戦できる状態をつくりたい」と書いています。現在の軸と仕事の形が具体的につながっている業種です。

確認してほしいこと　システムを作ることそのものと、お客様の仕事を理解して「どう変えればよいか」を一緒に考えることでは、仕事内容がどう違うかをぜひ見てみてください。

02 Web サービス・アプリ・SaaS

提案した理由　一社ごとにシステムを作る方法とは別に、一つのサービスを多くの企業や利用者に使ってもらい、使う人の仕事や行動を支える方法があります。チームでサービスを育て、利用者の声を改善につなげる仕事もあります。

確認してほしいこと　一社一社のお客様に合わせて作る仕事と、一つのサービスを育てて多くの人に使ってもらう仕事の違いを比べてみてください。

03 教育・研修・学習サービス

提案した理由　あなた自身が、分からないことを聞く、練習する、見方を変える、少しずつ試す、といった方法で成長してきた経験があります。企業研修や学習支援などには、人が学び、新しいことに挑戦できる状態を直接支える仕事があります。

確認してほしいこと　人が成長しやすい「道具や環境」を作ることと、人に直接関わりながら成長を支えることでは、仕事の関わり方がどう違うかを確認してみてください。

3 業種を通して見てほしいこと

- 一社のお客様に合わせて作る仕事と、多くの利用者に共通するサービスを育てる仕事の違い。
- 「相手の成長を支える」とき、仕組み・システムを通す方法と、人に直接関わる方法の違い。
- チームで何を作り、その結果として相手にどんな変化が生まれる仕事なのか。

この資料は、これまで考えてきたことから、確認してみてほしい仕事の選択肢とその理由を整理したものです。仕事内容や企業ごとの違いも、ぜひ見てみてください。

【本資料について】

本資料は、実際に学生へ行った業種提案を、法人向けの営業説明用に匿名化・一部一般化したものです。提案する業種と提案理由・確認事項の趣旨は維持しています。特定業種への適性や就職を保証する資料ではありません。